

興譲館の梅

【学校教育目標】

やさしく、かしこく、たくましく
笑顔の花咲く 桜っ子の育成
～すべては子ども達の自信のために～

令和8年6月5日 文責：校長

成長できた5年自然教室

○誰にでも進んであいさつをしよう。

○時間ときまりを守ろう。

○何事にも全力でがんばろう。

これらのめあてを掲げ、5年生は5月27日(水)、28日(木)の一泊二日で波戸岬少年自然の家に研修に行って参りました。

出発式の時に、私は子どもたちにこの研修には3つの出会いがあることを話しました。

一つ目は「自然」との出会いです。日頃は体験できない自然の美しさ、雄大さ、厳しさ等を直接体験することで、子どもたちが成長していきます。

二つ目は「がまん」との出会いです。スマホもテレビもゲームもない、おやつもジュースもない、今の子どもたちにとっては少々酷かもしれませんが、忍耐力(精神的な強さ)や自分をコントロールする力が身につきます。

三つ目は「友達」との出会いです。学校ではいつも一緒に過ごしている友達。でも、一緒に体験活動をする事によって、新たな友達の一面に出会うこととなります。「きついときに励ましてくれた。」「疲れていたときに待っていてくれた。」「困っていたときに手伝ってくれた。」等、友達のよさに気づきます。そしてこのことから友達を見る目が変わってきます。

初日のウォークラリーでは、グループで絵地図を見て判断しながら歩みを進めていきました。友達同士で意見を出し合い、合意形成をして活動します。友達同士でもめたグループもありましたが、ゴールしたときは笑顔でゴールすることができました。二日目のカッターボート体験では、息を合わせながら重いオールを漕ぎました。一致団結しないとボートは前に進めません。どのグループも最初は全然前に進めませんでした。指導員の方の厳しくも温かい指導を受け、徐々に船を前に進めることができるようになりました。「1、2～はい!」のかけ声が湾内に響き渡り、声が大きくなるにつれ、オールのタイミングも合い、船が前に進むようになりました。

それぞれの活動を通して、自分もがんばったけど、友達がいたからこそゴールへたどりつけた、と実感したことと思います。子どもたちは改めて友達の大切さ、周りの人の大切さに気づき、学ぶことができました。

また、食後にグループの机をふきんで率先して拭いている子どもや落ちていたゴミを進んで拾った子どもなど、誰かのために何かのためにがんばる子どもの姿に、校長として心から嬉しく思いました。今年の目標である「誰かや何かの役に立つ1年にしよう!」を体現してくれたシーンでした。

帰校式で子どもたちの前に立ちましたが、どの顔もととても疲れていました。でも、2日間がんばったんだ、という充実感もその表情に見てとれました。

普段体験できない時間を過ごした5年生。今後は6年生とともに、学校を引っ張る機関車としての役割を果たしてくれることを望んでいます。これからの5年生の活躍を、職員でしっかりと見守ってまいります。

朝のあいさつ調査

本校は、

朝、8時15分(登校完了時刻)までに、10人とあいさつをしよう!

という目標を掲げて取り組んでいます。全校児童の80%達成を目標としています。

先日、全校アンケートをしたところ、達成率は57%でした。残念ながら目標達成とはいかなかったのですが、この数値は少しずつ向上してきていると判断しています。朝、校門に立っていても、自分からあいさつをする子が増えてきておりますし、地域の方も子どもたちのあいさつが向上していることを伝えてくださいます。

目標達成まであとひと踏ん張りです。

子どもたちには家族の方とのあいさつも10人の中に入れていいよ!と伝えています。

ご家庭でもあいさつのご指導をお願いいたします。

おはよう

ございます!